

乙姫城



妻木城址の会

事務局 〒509-53
岐阜県土岐市妻木町3051-1
八幡神社社務所内

TEL0572-57-6441

「妻木の文化財展」

のお知らせ

十一月三日(日)

本年も妻木の歴史と文化財を多くの方に知っていただくために文化財展を行います。

昨年は下刈り作業の進んだ妻木城跡を見学していただくことを主に計画しましたが、本年は歴史を目で耳で体で感じていただく火縄銃の実演を実施することになりました。

また展示コーナーでは「妻木城主の時代」をテーマとして、関ヶ原の戦い前後の城主の遺品を中心に多数の武具類を展示いたします。

崇禅寺・八幡神社でも例年通り一般公開されますので、ぜひ妻木へお出かけいただきたいと思えます。

火縄銃と武者行列

(午後一時半より 小学校)

この地方では初の火縄銃の実演となります。「尾張田付流古式砲術保存研究会」の皆様のご協力により火縄銃の実演が実現しました。

尾張田付流は田付兵庫助源影澄を流祖とし、尾張徳川家の御家流として代々田付兵庫助を名乗り鉄砲指南役として代々尾張徳川家に伝えました。尾張田付流保存研究会は砲術の保存と調査研究や啓蒙活動を目的に地元名古屋をはじめ各地で活躍しております。

今回のイベントは、妻木城主妻木家頼が関ヶ原の合戦の際して西軍岩村城主田丸氏を

撃破した故事をイメージして行います。

慶長五年(一六〇〇)八月十二日夜半、東軍に属する妻木城主妻木家頼は、土岐口にて西軍岩村勢を待ち伏せ、妻木川を渡る敵に鉄砲を打ちかけました。その後高山城、鶴ヶ城とこの地方での攻防が続きます。

武者行列は鉄砲隊に「親子鎧作り教室」に参加した地元の子供達加わり八幡神社まで凱旋行列を行います。八幡神社では火縄銃の実演や古式流鏑馬の披露が行われ、その後崇禅寺にて墓所のお参りを予定しています。

また八幡神社にて鉄砲隊や

木曾馬にまたがったの記念写真撮影会を予定しておりますのでご家族連れでお出かけ下さい。

古式流鏑馬の再現

八幡神社の流鏑馬は、元和九年（一六二二）に妻木城主が馬一頭を奉納したことに始まると伝えられています。江戸時代に行われていた流鏑馬は、現在の流鏑馬とは違い五色の紙を笠につけた少年が馬に乗る華麗なものであったことが記録に残っています。

崇禅寺の虫干し

崇禅寺は文和三年（一二五四）に土岐氏の一族土岐明知彦九郎頼重が建立しました。崇禅寺には代々の城主の位牌をはじめ、多くの文化財が残されています。

八幡神社の文化財展

八幡神社は妻木城主の氏神として、社殿再建の記録である棟札をはじめ多くの奉納品が残されています。

妻木城跡御殿跡

県史跡に指定されている妻木城は、土岐明知彦九郎が築城したと伝えられています。本年は会員の皆様のご協力により三度下刈を実施しました。ぜひこの機会に城跡を散策し秋の一日を過ごしていただきたいと思います。



新刊紹介

「明智物語」和泉書院発行

関西大学中世文学研究会編

内閣文庫蔵書。この物語は、土岐定

明（後の沼田城主土岐家初代定政の父）の家臣森四郎左衛門秀利が、土岐明智家の事を語り始め、正保四年（一六四七）に上下二巻にまとめたものだと言われている。

土岐頼明（妻木城主彦九郎弘定と同一人物）は、土岐に居住するときは土岐を、遠山に居住するときは遠山を、明智に居住するときは明智を名乗るとし、その子定明は二人の弟に領地を分け、定明に遠山を、光秀に明智を与えている。

その後定明は弟定衡に討たれ、定明の子愛菊丸（後の定政）は母の実家である奥三河の菅沼氏を頼ったことが書かれている。

編者が記しているように信憑性はともかく、大変興味深い物語であり、ぜひ読んでみていただきたいと思います。

関ヶ原の戦いと妻木氏

関ヶ原の戦い前後の形勢

東濃地方を領していた兼山城主森忠政は、徳川家康の命により慶長五年（一六〇〇）二月に信州松代城に移り、替わって田丸直昌が岩村城主としてこの地方を支配します。

しかし森氏に従属していた妻木氏は、森氏と行動を共にせず妻木城にとどまり、石田三成方（西軍）の田丸氏の押さえとして、東濃地方の徳川方（東軍）の拠点として大きな意味をもってきます。

東濃地方の戦況

「譜牒餘録」によれば

八月一二日 岩村田丸勢が妻木領多治見より人質を取り帰るところを、妻木勢は土岐口（土岐市土岐津町）にて、妻木川を渡る岩村田丸勢に鉄砲を打ち掛け、廿人余りを討ち取り田丸勢は人質を捨て高山城に逃げ込む。

八月一二日 田丸領の柿野（土岐市鶴里町）でも合戦が行われ、同じ日に妻木城の南北で岩村田丸勢との衝突がおきています。

八月二二日 柿野にて再び合戦。

九月一日 妻木勢の高山城攻撃。

高山（土岐市土岐津町）の町屋に火を放ち高山城を攻める。

九月三日 岩村田丸勢は高山城に火をかけ、鶴ヶ城（瑞浪市土岐町）に退去する。

九月九日 徳川家康関ヶ原への出陣の途中、妻木家頼は岡崎（愛知県）にて家康を出迎える。

九月一七日 妻木勢は寺河戸（瑞浪市寺河戸町）まで押し寄せ砦をつくり、鶴ヶ城の攻防戦がはじまる。

九月二五日 岩村田丸勢は鶴ヶ城を開城し、妻木氏は明知遠山氏（恵那郡明知城主）に鶴ヶ城を渡し妻木へ帰る。

戦況は徳川家康の元へ逐一報告され、家康からの返書が届いている。六通の書状が残されており、東濃地方の緊迫した様子をうかがうことが出来ます。

戦後の状況

妻木氏は関ヶ原合戦の後、旗本として旧領を安堵されるとともに各地で加増されました。

妻木家頼 土岐郡内七五〇〇石

妻木城主

妻木・下石・土岐口・高山・土岐津・浅野の一部・大富・久尻・多治見・市之倉・笠原を領します。領内は美濃焼の産地の大部分を含み、美濃焼の発展に貢献しました。三代で断絶し妻木村（上郷妻木氏）を残して天領となります。

妻木頼久 下総国などで一〇〇〇石

妻木頼通 可児郡内にて一二〇〇石

妻木の文化財展予定表

イベント部門

戦場本陣再現(妻木小学校 一三時半)

火縄銃説明会・火縄銃の実演

凱旋行列(武者行列)

妻木小学校(八幡神社)

戦勝報告(八幡神社 一四時頃より)

火縄銃の実演・古式流鏑馬・馬上鎧武者

鉄砲隊との記念写真撮影会

墓所参拝(崇禪寺 一五時頃より)

展示部門ほか

文化財展示(九時より一六時)

小学校会場

八幡神社

崇禪寺

史跡散策(九時より一六時)

妻木城跡

御殿跡

公民館展示(九時より一六時)

公民館芸能発表(十四時より)

リサイクルバザー(一五時半)

都合により変更になる場合もあります。

事務局からのお知らせ

絵はがき「歴史の町 妻木」はお手元に届いていませんでしょうか。会員の方には無料の一部配布しております。届いていない方は事務局までご連絡下さい。

また、一部五百円にて頒布しております。絵はがきの残部が残りわずかになりました。ご希望の方はお早めにご連絡下さい。

乙姫城三号もやつと会員の皆様にお届けできることになりました。前号でお知らせした古文書の紹介は、紙面の都合により次号に掲載させていただきますので、ご了承下さい。

本年度の文化財展は、多くの方に見ていただけますようにイベント部門を設けております。ぜひ多数の方をお誘いの上お出下さい。

4、近世妻木氏の系図(寛政家譜)

